



素心

発行 / 社会福祉法人 素心会
 責任者 / 事務局長 高瀬 尚人
 〒259-0103
 神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
 TEL : 0463-71-1255

パラアート「個性豊かなアーティストたちの作品集」



令和7年度「障害者週間」作品 地域支援センターそしん
 春・夏 : 放課後等デイサービス事業
 秋 : 児童発達支援事業
 冬 : 生活介護事業

- ・素心秋祭り開催
- ・新人紹介
- ・ニッサンセレナ助成金のお礼
- ・虫窪24番地
- ・家族ペンリレー

- ・素心学院 移動動物園開催
- ・地域支援センターそしん イベント紹介
- ・秋の道普請・心創展のお知らせ
- ・消火訓練・イルミネーションお礼





新人紹介



素心学院にインドネシアから来た新人職員にインタビューしました。

▶素心学院では何と呼ばれていますか？

アギさんと呼ばれています。

▼素心学院で仕事を始めて楽しかったことは何ですか？

利用者さんに「ありがとう」と言われ嬉しかったです。今後も利用者さんを助けて自分も成長していきたい。



アルギファリ アルダン プルナマさん
所属:素宝寮

趣味は何ですか？

卓球・サッカーです。

日本で行きたい場所は？

富士山・上高地に行ってみたいです。

日本に来て一番

美味しかった食べ物は？

うなぎ



▶素心学院では何と呼ばれていますか？

ナナさんと呼ばれています。

▼働いていく中でしたいことチャレンジしたいことは？

活動時間に利用者さんと話すことが楽しいです。利用者さんを安心してサポート出来るように日本語や介護を学びよりよい支援をしていきたい。よろしくお願いします。



ナナ イスカンダル アスさん
所属:玉翠寮

日本で行きたい場所は？

ディズニーランドに行ってみたいです。

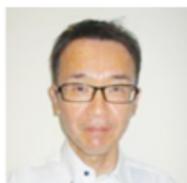
日本に来て

一番美味しかった食べ物は？

お刺身です。



今回はインタビュー形式で掲載しました。素心学院ではインドネシア人の特定技能実習生を令和6年10月に2名採用し新たに令和7年度8月にも2名採用しました。インドネシアで8か月、日本語はもちろん日本の習慣などを勉強し8月に来日し現在、素心学院に勤務しております。



~新人紹介~

地域支援センターそしん
地域生活課 鈴木正和

令和7年10月1日付けで地域支援センターそしんに配属となりました鈴木正和と申します。

9月迄は機械の保守作業に従事しておりました。

全くの異業種から人の為になりたい・人と直接関わりたい思いで飛び込んで参りました。

日々勉強中の身であります。ご利用者の方を第一に思い安心して頂けるよう過ごしておりますので宜しくお願い致します。

神奈川県共同募金会様より ニッサンセレナの助成金をいただきました。

このたび、社会福祉法人神奈川県共同募金会様より助成金200万円をいただき、地域支援センターそしんでは、新たに車椅子での乗降に対応した車両を購入することができました。日頃より共同募金運動にご協力くださっている地域の皆さま、ならびに共同募金会の関係者の皆さまに、心よりお礼申し上げます。今回の助成により導入した車両を活用し、送迎や外出支援の安全性の



向上に努めてまいります。

地域支援センターそしん
所長 鈴木綾子

素心秋祭り開催



令和7年11月1日「素心秋祭り」が開催されました。以前より、法人合同でのイベントとして「納涼祭」を開催していましたが、令和元年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大により中止しておりました。昨年度より納涼祭の再開に向けて準備を開始しましたが、例年納涼祭を開催していた時期は8月初旬、近年の夏の気候は危険を伴う暑さが続いており、参加者の安全を最優先に考え、開催時期を11月初旬に変更し計画を進めていました。しかし昨年度は当日雨天のため、またしても中止となりました。今



年度こそは、と再び準備し、無事6年ぶりに“素心会のお祭り”を開催することが出来ました。開催当日まで無事に準備ができるのか不安も多かったのですが、職員一同協力して準備が進み、無事に開催することが出来ました。

秋祭り当日、11時より模擬店が開始し、定番メニューである焼きそば、焼き鳥、ポテト等の他に、秋を感じる芋煮も出店しました。その他、景品付きの射的コーナー、撮影用の顔はめパネル等、参加した皆さんが楽しめるコーナーも設置し、お

げさまで大変盛況でした。イベントとして、大磯ウィンドアンサンブルの皆さんによる吹奏楽の生演奏。メロディが会場全体を包み、秋空のもと心地の良い時間が流れました。もう一つのイベントとしてシャボン玉ショーを実施しました。パフォーマーが音楽に合わせて、会場全体の至るところからシャボン玉を飛ばしたり、大きなシャボン玉を作成したりと会場が一体となって楽しんでいただけたと思います。



今年度、法人合同のお祭りは6年ぶりの開催となりましたが、多くの来場者の皆様、多方面の方々のご協力をいただき「素心秋祭り」を盛大に開催することができました。誠に有難うございました。

素心デイセンター支援課長 小清水俊介

移動動物園開催

令和7年11月21日(金)昨年に引き続き学院グラウンドにハムスターやフェレット・ウサギなどの小動物や蛇や亀、鳥類などの沢山の動物たちが遊びに来てくれました。今年度はポニー2頭も来てくれて皆さん興味津々。天気にも恵まれて各々好きな動物たちに会いに行き話しかけたり触れ合ったりして楽しまれ充実した時間を過ごされました。

素心学院支援二課 佐々木裕美



地域支援センターそしん イベント紹介

今回は、地域支援センターそしんで行った秋のイベントをご紹介します。生活介護では、ご家族の方からご縁を頂き、「にじみ絵」のワークショップを初めて開催しました。水で湿らせた画用紙に絵の具を落とすと様々な模様として浮き上がります。出来あがった作品の一部は電球を包むランプシェードに姿を変え、温かい光が印象的でした。放課後等デイサービスでは、中学生と高校生を対象に、ご家族も参加いただきバーベキューを実施しました。食材の準備や調理を協力して行い、ご家族も一緒に“食のイベント”を久しぶりに楽しむ機会となりました。児童発達支援では、親子で参加できる運動レクリエーションを実施しました。普段とは違う子どもたちの表情や頑張り、成長を感じられる貴重な時間となりました。私たちの事業所には未就学の児童から70代の方まで幅広い年代の方が毎日集っていますが、芸術、グルメ、スポーツと秋ならではのひと時を満喫していただけたのではないかと思います。

地域支援センターそしん 地域支援課 大野裕史



家族ペンルー

俊輔は一カ月と少し早く生まれました。サッカーが大好きなパパが選手にあやかって俊輔と名付けた。生まれて数日後、担当の先生から心臓と知的障害の告知を受け、帰りのエレベーターの中で夫婦で号泣した。



湘南養護学校小学部運動会にて

一人目の健常児とはまるで違う育児に戸惑いながら、早期療育、心室中核欠損の根治、養護学校への通学、デイサービス等、初めてづくしを経験しながら俊輔は成長した。

素心デイセンター

生活2班 多田俊輔さん
みちよ 母 道代さん

あれから20年。現在はそしんデイセンターに通わせて頂いている。サッカーはできないが私達夫婦と一緒に、サッカーの試合に出掛け楽しんで(?)くれている。



東京丸の内Jリーグイベントにて



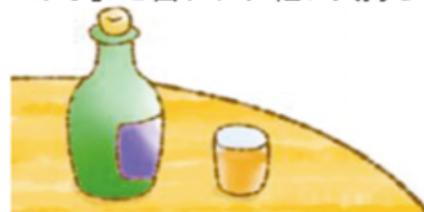
すてきな
えがお



俊輔の瞳は赤ちゃんの頃の澄んだ瞳のままである。

虫窪 24 番地

最近ハマっているのがウイスキーです。もともと父が好きでよく晩酌で飲んでいたので思い出し、なんとなく自分も飲みはじめたのがきっかけでした。産地や銘柄による味や香りの違いを感じてみたいと思い、お小遣いで少しずつ集めているうちに棚がボトルで埋まっていました。ラベルを眺めて飲みながら「これはピート香が強い」「樽由来の香りがある」なんて生意気なことを言っていたのですが、先日妻に「じゃあ目隠しで飲み比べて当ててみな」と言われ、軽い気持ちで挑戦すること



に。「さすがに分かるでしょ」と余裕をかましていたのにいざ飲んでみると全部似たような味に感じ、結果はまさかの全問不正解でした。違いがあるような気はするのに、どれがどれだかさっぱり分からず、「自分は思っていた以上に馬鹿舌なんだな」と軽くショックを受けました。味や香りよりも値段や銘柄といった雰囲気を楽しんでいたのかもしれない。それ以来、高いウイスキーには手を出さなくなり、今はスーパーで買えるお手頃ボトルで満足しています。

素心学院支援一課 高橋篤人



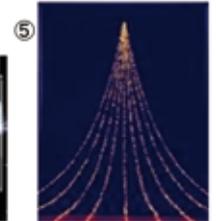
第34回屋内消火栓及び消火器取り扱い訓練

令和7年11月20日(木)に大磯ロングビーチ第三駐車場で行われた大磯町危険物安全協会と大磯町消防本部の共催による屋内消火栓及び消火器取扱い訓練に素心学院から2名、素心デイセンターから2名、計4名が参加しました。実際の消火栓や消火器に触れて、取り扱い方法を理解し、操作方法を身につけることにより、有事の際に迅速かつ的確に初期消火が行われればと思います。

素心デイセンター 生活3班 永尾一人



イルミネーション購入のお礼



後援会の皆さんにご協力いただきました。
①② 支援センターそしん
③④⑤ 素心学院

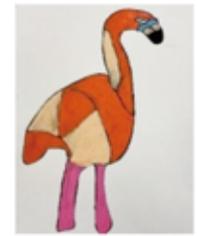
素心会後援会ご寄付により素心学院と地域支援センターそしんのイルミネーションを購入して設置しました。利用者さんも喜んでます。心より感謝申し上げます。

素心学院支援二課長 小池奈津美

第32回 心創展のお知らせ

令和8年2月11日(水)～2月15日(日)
平塚市美術館 市民アートギャラリー
9:30～16:50(最終日は15:00まで) 入場無料
主催:社会福祉法人素心会 ☎0463(71)1255

テーマ「いつもみんなと」



秋の道普請

令和7年10月5日(日)素心学院から加藤年一さん、鈴木宏明さん、武宮功宜さん、小沢みどりさん、舟木沙由里さんの利用者5名と素心学院、素心デイセンターから4名の職員が秋の道普請に参加しました。

道普請は例年春と秋の年2回行っており、地域の方々と近隣の歩道の清掃を行っています。すっきりとした秋晴れとまではいきませんでした。清掃活動を行う中、汗ばむ陽気で皆さんそれぞれ一生懸命に取り組みました。

素心デイセンターの裏門付近から始まり小田原厚木道路大磯インター上り前の信号まで朝8時から始まりおよそ3時間の清掃活動になります。途中差し入れを下さり、小休止を入れ交流しながら清掃を行っていきました。大磯インター付近で道を振り返ると道が綺麗になっているのが一目瞭然です。

事前に歩道脇の草を刈っていただくなど、地域の方々のご協力により利用者の皆さんにとって充実した清掃活動となりました。今後も地域との関わりを大切に続けさせていただきたいと思っております。

素心学院 支援一課 石森健太郎



▲みなさんお疲れ様です。